

## 6 特別な支援を要する幼児児童生徒への食に関する指導の進め方

### (1) 基本的な考え方

特別な支援が必要な幼児児童生徒への食に関する指導は、一人一人の障害に伴う実態や課題をしっかりと把握し、その教育的ニーズに応える丁寧な指導や支援が必要です。給食の時間は、幼児児童生徒が学校生活の中でとても楽しみにしており、心と体に栄養を与えるための大切な時間と言えます。また、食に関する指導の中核となる時間でもあり、学校給食が「生きた教材」となります。その指導の充実を図るためには、栄養教諭が中心となって他の教職員と連携し、きめ細やかな指導や支援を進めることが望まれます。

さらに、幼児児童生徒が生涯にわたって健康で文化的な食生活を営むためには、学校と家庭との協力・連携がとても重要となります。

ここでは、特別支援学校における食に関する指導の基本的な考え方を述べますが、小中学校の特別支援学級においても、児童生徒の実態に合わせて参考としてください。

#### ア 食に関する指導の全体計画の作成

特別支援学校の小学部と中学部の教育は、小中学校に準じた教育を行うとともに、障害による学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るために必要な知識技能を授けることを目的としています(学校教育法第72条)。そのため、特別支援学校では、各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間の他に、小中学校にはない指導領域として自立活動が設けられています。さらに実際の指導に当たっては、各教科、領域を合わせた指導を行う指導形態を設定しています。

したがって、特別支援学校における食に関する指導の目標設定に当たっては、小中学校に準ずるとともに、健康状態の維持・改善、食べる機能や食事をするための上肢(手指)機能の改善・向上など、自立活動の指導目標や合わせた指導等における指導内容との関連を踏まえて作成します。その際、在籍する幼児児童生徒の障害の状態や特性等をじゅうぶんに考慮することが必要です。

#### イ 個別の指導計画を生かした食に関する指導

特別支援学校では、幼児児童生徒一人一人の障害の状態や発達段階、生活の状況などが異なり、多様であることから特別支援学校学習指導要領では、「各教科等の指導に当たっては『個別の指導計画』を作成すること」とされています。特別支援学校において食に関する指導を推進するためには、自立活動との関連をじゅうぶんに図ることが必要です。実際の指導に当たっては、幼児児童生徒について食に関する指導の目標や内容を必要に応じて「個別の指導計画」に盛り込み、個に応じた指導を展開することが望まれます。

## ウ 食に関する指導内容

- (ア) 食事の重要性（食事の重要性、食事の喜び、楽しさを理解する）
- ・ 食事は、人間が生きていく上で欠かすことのできないものであること
  - ・ 食事は、空腹感を満たし気持ちを静める働きがあること
  - ・ 仲間との食事や食味のよさは、心を豊かにすること
  - ・ 食事は、規則正しくとることが大切であり、特に、朝食をとることは、心と体を活動できる状態にし、もてる力をじゅうぶんに発揮できるようになること
  - ・ 外食や中食、自動販売機やコンビニエンスストア等の食環境と自分の食生活との関わりを理解すること
- (イ) 心身の健康（心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事のとり方を理解し、自ら管理していく能力を身に付ける）
- ・ 手洗いやよくかむこと、よい姿勢や和やかな雰囲気づくりは、食事の基本であること
  - ・ 規則正しい1日3度の栄養バランスのよい食事は、心身の成長の基本であること
  - ・ 栄養バランスをよくするために、好き嫌いなく食べることが必要であること
  - ・ さまざまな食品にはそれぞれ栄養的な特徴があること
  - ・ 健康の保持増進には、栄養バランスのとれた食事とともに、適切な運動と休養、睡眠が必要であること
  - ・ 自分の食生活を見つめ直し、よりよい食習慣を形成しようと努力すること
- (ウ) 食品を選択する能力（正しい知識・情報に基づいて、食物の品質及び安全性等について自ら判断できる能力を身に付ける）
- ・ 学校給食にはいろいろな食品が使われていること
  - ・ 日常食べている食品や料理の名前や形を知ること
  - ・ 食事の準備や後片付けは、安全や衛生に気を付けて行うこと
  - ・ 食品表示など食品の品質や安全性等の情報について関心をもつこと
  - ・ 食品の品質の良否を見分け、食品に含まれる栄養素やその働きを考え、適切な選択をすること
  - ・ 食品の衛生に気を付けて、簡単な調理をすること
- (エ) 感謝の心（食物を大事にし、食物の生産等に関わる人々へ感謝する心をもつ）
- ・ 食生活は、生産者をはじめ多くの人々の苦労や努力に支えられていること
  - ・ 食料の生産は、すべて自然の恩恵の上に成り立っていること
  - ・ 食という行為は、動植物の命を受け継ぐことであること
  - ・ 食事のあいさつは、食に関しての感謝の気持ちの表現であること
  - ・ 感謝の気持ちの表れとして、残さず食べたり無駄なく調理したりすること
- (オ) 社会性（食事のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を身に付ける）
- ・ 協力して食事の準備や後片付けをすること